

## 令和3年度仙台市太白障害者福祉センター在宅障害者・一般市民向け事業 「絵手紙体験教室」を開催しました

令和3年8月14日  
仙台市太白障害者福祉センター

去る、令和3年8月7日（土）に「絵手紙体験教室」を開催しました。

5名の参加があり、講師に日本絵手紙協会認定講師を務めておられる都築徳子先生にご協力いただきました。

当日は、暦の上では残暑ということもあり、描いた絵手紙を残暑見舞いやご自分用に試してみたいとの説明の中、絵手紙と直接投函のできるうちわ作りを行いました。

都築先生の楽しいトークを交えながら、絵手紙を描く上でのポイントの具体的な説明があり、全員が参加しやすい雰囲気の中で教室は進んでいきました。

最初は、筆を使ってゆっくり描くことに苦戦される参加者の方もいらっしゃいましたが、「出す相手の表情を思い浮かべながら描いて欲しい」とのアドバイスを受けると、「コロナ禍で2年ほど会っていない孫に出したい」など送る相手を具体的に思い描きながら作業を進めることで、一人ひとり味わいのある作品を作り上げていました。

作品が全て出来上がったとき、参加者の方から「他の方の作った作品を見てみたい」との声が上がり、品評会を行いました。同じテーマ、同じモチーフを使った作品でしたが一人ひとりの個性が見られ「かわいい作品！」等それぞれの頑張りを認め合う素敵な時間を持つことができました。また、完成した絵手紙に早速住所を書いて残暑見舞いを出す準備をされる参加者も見られ、終始笑顔と楽しさがあふれる教室となりました。

今回の参加された方から、「絵手紙はまたないの？」「他にどんな教室の予定があるの？」などまた参加してみたいとの声を聞くことができました。

今後も参加された方が楽しく、また、自宅から地域に参加するきっかけとなるような講座を企画していきたいと思えます。



